

想定した品目

なす促成

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
なす促成	人 3	なす促成		a 40	1. 単為結果性品種使用 2. 接ぎ木苗購入 3. 天敵利用体系 4. 防虫ネット使用 5. 自動換気装置利用 6. モニタリング装置利用
		経営耕地面積	水田 40 畑		
経営目標		1 農業総収入	24,832 千円	4 1日当たり農業所得	9,782 円
		2 農業経営費	19,727 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,392 時間
		3 農業所得	5,105 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	ビニールハウス(新設) (ハウス本体工事、二重カーテン、換気扇、灌水チューブ、電気工事込み)	4	連棟補強 I 型(HK):4000㎡	1	千円 33,980	8	千円 2,124
	重油タンク	2	1.9kL	1	365	7	26
	防油堤	2		1	437	25	17
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,080	24	45
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	3,240	24	135
	計					39,101	
農機具	トラクター	1	20PS、140cm幅ロータリー装着	1	1,817	7	130
	管理機	1	6.2PS	1	200	7	14
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)	1	213	7	15
	トラック	1	軽トラック	1	917	4	115
	加温機	2	600坪用(150,000kcl/h)	1	2,642	7	189
	循環扇	4	1セット/10a	1	704	7	50
	多段式サーモ	2	加温機取り付け	1	185	7	13
	自動換気装置	4	1000㎡用	1	3,410	7	244
	モニタリング装置	2		1	496	7	35
	計					10,583	

3. 技術体系(なす促成)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
バンカー植物管理	播種 防除 追肥	5月～11月		1	3	3	クレオメ等	なす20aに対して クレオメを1a分準備
(本ぼ) 耕うん整地	耕起 整地	8月中	トラクター	2	2	4	堆肥 4t	深耕及び有機質の多用。
土壌消毒		8月中		2	3	6	土壌消毒剤	土壌消毒は県病害虫病除基準による。
施肥	基肥施用  追肥施用	8月下  10月下～ 6月		2  1	2  16	4  16	石灰・磷酸質資材 140kg 10a当たり成分 N 66kg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 50kg K <sub>2</sub> O 41kg	Nの分肥割合 基肥 40% 追肥 60%
定植準備	耕耘 うね立て	8月下～ 9月上	トラクター 管理機	2	3	6	鍬	栽植密度 うね幅 2m×株間 65cm 10a当り 770株
定植		9月上～中		2	3	6	コンテナ 1輪車	JA育苗センターで薬剤を灌注 済みの苗 一番花開花直前、浅植えする。 ※一緒に天敵温存植物(クレオメ) を50株/10a定植する
かん水施設 設置		9月上～中		2	3	6	かん水チューブ 他	
天敵放飼 市販天敵	スワルスキー カブリダニ	9月下		1	1	1	スワルスキーカ ブリダニ放飼 (10a当たり2 本)	定植後2～3日後
支柱立て		9月下		2	8	16	支柱 エスター線	
天敵放飼 土着天敵	タバコカスミカメ	9月末 10月中		1	2	2	200頭/袋を10 袋/10a	スワルスキー放飼の7～10日後

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
誘引 芽かぎ 摘葉		9月下～ 5月下		2	180	360	エスター線 誘引ひも ハサミ	4本仕立てとする。 側枝は花の上位葉1枚残して摘除する。
ビニール張り	ビニール張り	9月中旬		3	8	24	ビニール一式 防虫ネット	
	2重カーテン設置	10月～11月		3	4	12	内カーテン	
マルチ		10月～11月		2	4	8	ポリマルチ	マルチ被覆は10月末までは、うね肩まで上げておく。
温度管理	保温換気	10月中～ 5月	加温機 多段式サーモ 循環扇 自動換気装置	1	4	4	A重油12,000L	厳寒期の保温対策の実施(2重カーテン) 昼間27～30℃、夜間12℃以上で管理する。
かん水		9月～6月		1	38	38		
病虫害防除	薬剤散布 耕種的防除	9月～6月	動力噴霧機	2	12	24	殺菌剤 殺虫剤	県病虫害防除基準による適正防除。
収穫		10月下～ 6月	トラック	3	185	555	ハサミ 収穫台車 コンテナ	果実を大きくすると樹勢が弱るので早どりする。
出荷		10月下～ 6月	トラック	1	25	25		共同選果施設を利用。
後かたづけ	ほ場環境浄化	6月～7月	トラック	2	10	20		
計						1140		

4. 品目の作付体系(△定植, ◯ハウス被覆, □収穫)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
なす促成									□			
									△			

5. 作業別・月別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計											
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下													
ハンカ-植物管理									1															3												
定植準備																			6	6	2				20											
定植																			3	3					6											
かん水設置																			3	3					6											
天敵放飼																			1	1					3											
かん水	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	38											
支柱・整枝・誘引	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	7	12	14	14	14	14	14	376											
マルチ張り																				4	4				8											
ビニル被覆																			12	12	12				36											
温度管理																				1	1	1	1		4											
追肥	2		2		2		3			3												2			16											
病害虫防除	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24											
収穫	20	20	22	24	24	24	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	20								555											
出荷	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1								25											
後かたづけ														10	10										20											
計	38	38	38	44	40	40	46	46	46	48	52	47	47	47	42	23	10	10	10	0	0	0	7	6	13	19	16	33	38	27	31	27	30	38	34	1140
月計	114		122			132		145		147		112		20				48		100		85		102												

6. 総労働時間

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計											
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下													
総労働時間	152	152	152	176	160	160	184	184	188	192	208	188	188	188	92	40	0	28	24	64	116	132	152	108	124	108	120	152	136	4560						
うち家族労働	137	137	132	146	140	130	154	154	158	162	178	158	188	168	92	40	0	28	24	64	116	132	152	108	124	108	120	152	136	4175						
うち雇用労働	15	15	15	20	30	20	30	30	30	30	30	30	0	0	0																					385